（第１面）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業計画の概要  １．事業の全体計画（変更許可申請時には変更部分を明確にして記載すること）  **平成○○年から建設業を営んでいるが、下請け業者としての受注が多いため、産業廃棄物の収集運搬にあたっては許可が必要となることから、申請に至った。**  **許可取得後は、主に建設業に伴って生じる産業廃棄物の収集運搬を行うことを計画している。**  現在の主たる業務と業務経歴、産業廃棄物収集運搬業に係る事業計画の概要を記載して下さい。  ２．取り扱う産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の種類及び運搬量等 | | | | | | |
|  | (特別管理)  産業廃棄物  の　種　類 | 運搬量  (t/月又は  ｍ3/月) | 性　状 | 予定排出事業場の名称及び所在地 | 積替え又は保管を行う  場合には積替え又は保  管を行う場所の所在地 | 予定運搬先の名称及び所在地  （処分場の名称及び所在地） |
| １ | **汚泥（含水率85%以下のものに限る。）** | **1.0t/月** | **泥状** | **○×建設**  **沖縄県○○市・・** | **非該当** | **○×環境**  **○○市××１１番地１** |
| ２ | **廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む。）** | **1.0t/月** | **泥状** | **○×建設**  **沖縄県○○市・・** | **非該当** | **○×環境**  **○○市××１１番地１** |
| ３ | **紙くず（石綿含有産業廃棄物を除く。）** | **0.5t/月** | **固体** | **○×建設**  **沖縄県○○市・・** | **非該当** | **○×環境**  **○○市××１１番地１** |
| ４ | **がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む。）** | **10t/月** | **固体** | **○×建設**  **沖縄県○○市・・** | **沖縄県○○市××１２番１** | **○×環境**  **○○市××１１番地１** |
| ５ |  |  |  | 取り扱う産業廃棄物の種類ごとに、運搬量や性状、排出事業場の名称等を記入するとともに、それぞれ積替え保管の有無についても明記してください。また、申請に係る施設の内容により取り扱う産業廃棄物が限定される場合は、その旨を明記して下さい。  予定排出事業場や予定運搬先（処理業者）については、具体的な排出事業場名・運搬先の業者名を記載することが原則ですが、事業開始前で排出事業場・運搬先が特定できない場合は、「県内一円建設現場」、「県内一円事業場」等の記載でも可能です。  記載欄が足りない場合は、追加して記載して下さい。 |  |  |
| ６ |  |  |  |  |  |  |
| 備考 取り扱う（特別管理）産業廃棄物の種類ごとに記載すること。 | | | | | | |
|

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（日本産業規格 Ａ列４番）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ３．運搬施設の概要  (1) 運搬車両一覧 | | | | | | | | |
|  | 車体の形状 | | 自動車登録番号  又は車両番号 | 最大積載量  （kg） | | 所有者又は使用者 | | 備考 |
| １ | **脱着装置付コンテナ専用車** | | **沖縄　100**  **あ　11－11** | **3,800** | | **株式会社環境○○** | |  |
| ２ | **キャブオーバー** | | **沖縄　100**  **い　22－22** | **8,000** | | **株式会社環境○○株式会社環境○○** | |  |
| ３ | **タンク車** | | **沖縄　800**  **う　33－33** | **5,000** | | **株式会社環境○○** | |  |
| ４ | 自動車検査証に沿って、運搬車両ごとに、車体の形状等を記入して下さい。 | |  |  | |  | |  |
| ５ |  | |  |  | |  | |  |
| ６ |  | |  |  | |  | |  |
| ７ |  | |  |  | |  | |  |
| ８ | 「事務所の所在地」には、申請者住所以外に事務所（支店・営業所等）がある場合に、廃棄物処理業に用いる全ての事務所を記入して下さい。申請者住所と同じ場合は住所を、住所以外の事務所の場合は住居表示を記入してください。 | |  |  | |  | |  |
| ９ |  | |  |  | |  | |  |
| 10 | 運搬車両以外に用いる運搬容器等の施設について記入して下さい。  「用途」の欄には、当該運搬容器等で運搬する産業廃棄物の種類を記入し、「備考」欄に運搬容器等の素材・個数を記入して下さい。 | |  | 「駐車場の所在地」には、用いる運搬車両を駐車する全ての駐車場を記入して下さい。土地又は建物の登記簿に沿って、地番等を省略せずに記入して下さい。記入欄が足りない場合は、別紙として記入して下さい。 | |  | |  |
| 事務所の所在地 | | **沖縄県○○市××１２番地の３４** | | | | | | |
| 駐車場の所在地 | | **沖縄県○○市××１２番１** | | | | | | |
| (2) その他の運搬施設の概要 | | | | | | | | |
| 運搬容器等の名称 | | | 用　　途 | | 容　　量 | | 備　　考 | |
| **ドラム缶** | | | **汚泥** | | **２００Ｌ** | | **２本** | |
| **フレコンバッグ** | | | **紙くず** | | **１ｍ３** | | **５袋** | |
| **飛散防止用カバー** | | | **飛散防止用** | |  | | **２枚** | |
| **ロープ**  運搬車両以外に用いる運搬容器等の施設について記入して下さい。  「事業計画の概要第５面　５．環境保全措置の概要」で飛散流出防止対策に使用する予定である道具（シートやロープ等）についても、もれなく記入してください。  「用途」の欄には、当該運搬容器等で運搬する産業廃棄物の種類を記入し、「備考」欄に運搬容器等の素材・個数を記入して下さい。 | | | **飛散防止用** | |  | | **３本** | |

（第２面）

（第３－１面）

|  |
| --- |
| (3) 積替施設又は保管施設の概要  ①積替え保管を行う理由（記載例）  **小規模な建設現場内では、排出現場で分別することができないため、排出現場外で分別作業を行うための積替え保管場所が必要となる。**  **建設混合廃棄物については、分別後、それぞれ次のとおり処理を行う。**  **廃プラスチック類**  **→　産業廃棄物処理業者に委託（埋立、又は焼却後に埋立）**  **紙くず、木くず、繊維くず**  **→　産業廃棄物処理業者に委託（焼却後に埋立）**  **金属くず**  **→　金属買い取り業者に売却**  **ゴムくず**  **→　産業廃棄物処理業者に委託（埋立）**  **ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず**  **→　産業廃棄物処理業者に委託（破砕後、路盤材として再生利用。路盤材として再生利用できないものについては埋立）**  **がれき類**  **→　産業廃棄物処理業者に委託（破砕後、路盤材として再生利用）**  当該理由書には、次を参考にして、積替え保管が必要な理由を具体的に記載して下さい。  Ⅰ　分別・再生利用目的の保管の場合の理由  ⅰ）排出事業者もしくは排出事業者の事業場内での分別が不可能、もしくは困難である理由、保管場所を設ける利点を、「必要理由書」に具体的に明記すること。  ⅱ）元の廃棄物の内容と、分別した廃棄物の品目ごとに、処分の形態（管理型・安定型・再利用等）を事業計画に記載すること。  Ⅱ　小規模事業所からの収集／処分場輸送までの一時保管の場合の理由  ⅰ）排出事業者の小規模事業所への大型車輌の搬出入が困難であることを前提とし、その状況を詳しく「必要理由書」に記載すること。  Ⅲ　島外・県外輸送、海外輸出のための保管の場合の理由  　ⅰ）島外・県外輸送、海外輸出後の現地での処理・再利用の内容と、県内処理と比較した排出事業者の経済的利点を具体的に数字を挙げて記載すること。  その際には通常市場価格とされている輸送費・処理費等を提示し、それとの比較を行うこと。  ⅱ）特に海外への輸出の場合は、「必要理由書」に輸出実績の有無、経済産業省及び環境省との事前相談・確認を行っていることを必ず記載すること。 |
|

※沖縄県では、施行規則第９条の２で定められた様式第六号の二（第３面）について、上記の記載事項を設け、（第３－１面）としています。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ②積替え保管の具体的内容（記載例）  保管方法を具体的に記載してください。  積替え保管場所の所在地：**沖縄県○○市××１２番１**   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | No | 産業廃棄物の  種類 | 保管面積 / m2 | | 算定根拠  保管方法を具体的に記載して下さい。  保管方法を具体的に記載して下さい。 | 保管方法 | | 保管高さ / m | | | 保管量 / m3(t) | | | 1 | **廃プラスチック類** | **6.0** | m2 | **2.0×3.0×1.5=9.0m3**  **9.0×0.35=3.15t**  **（コンテナ１機分）** | **コンテナにて保管し、上からシートを被せる。** | | **1.5** | m | | **9.0** | m3 | | （**3.2** | ｔ） | | 2 | **紙くず、木くず、繊維くずの混合物** | **10.0** | m2 | **1.0m3×10=10.0m3**  **10.0×(0.17+0.55+0.12)/3**  **=2.8t**  **（フレコンバッグ10個分）** | **フレコンバッグを用いて保管する。** | | **1.0** | m | | **10.0** | m3 | | （**2.8** | ｔ） | | 3 | **ゴムくず** | **6.0** | m2 | **2.0×3.0×1.5=9.0m3**  **9.0×0.52=4.68t**  **（コンテナ１機分）** | **コンテナにて保管し、上からシートを被せる。** | | **1.5** | m | | **9.0** | m3 | | （**4.7** | ｔ） | | 4 | **金属くず** | **12.0** | m2 | **(2.0×3.0×1.5)×2**  **=18.0m3**  **18.0×1.13=20.34t**  **（コンテナ２機分）** | **コンテナにて保管し、上からシートを被せる。** | | **1.5** | m | | **18.0** | m3 | | （**20.3** | ｔ） | | 5 | **ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（再利用不可）** | **12.0** | m2 | **2.0×3.0×1.5=9.0m3**  **9.0×1.00=9.0t**  **（コンテナ１機分）** | **コンテナにて保管し、上からシートを被せる。** | | **1.5** | m | | **9.0** | m3 | | （**9.0** | ｔ） | | 6 | **ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の混合物** | **36** | m2 | **6.0×6.0×1.5=54m3**  **54×(1.48+1.00)/2**  **=66.96t** | **屋外にて容器を用いずに保管する。**  **適宜散水し、シートをかぶることで粉じん等の発生を防止する。** | | **1.5** | m | | **54** | m3 | | （**67.0** | ｔ） |     左記の保管量等の算定根拠を記載して下さい。  また、面積等の自動計算ソフトなどを用いて計算した場合は、その旨を明記して下さい。  保管する産業廃棄物の種類ごとに、保管面積(m2)、高さ(ｍ)、保管量（重量(ｔ)及び体積(m3)）を記載し、小数点以下１桁まで示して下さい。  ※　欄が足りない場合は、同様の表を別紙に作成して下さい。  ※　ここに記載した保管量の算定根拠及び保管方法等が分かる図面又は写真等を併せて添付して下さい。  ※　積替え保管を行う場所ごとに、当該様式を作成して下さい。 |
| ※沖縄県では、施行規則第９条の２で定められた様式第六号の二（第３面）について、上記の記載事項を設け、（第３－２面）としています。 |

（第３－２面）

土地又は建物の登記簿等に沿って正確に記載してください。

自動車や機械、分別前の混合廃棄物等、複数の種類から構成される産業廃棄物を保管する場合は、性状等も合わせて具体的に記載して下さい。

|  |
| --- |
| ③保管量と搬出量の比較（記載例）  　　ア　積替え保管場所の所在地：**沖縄県○○市××１２番１**  　　イ　産業廃棄物の保管量（合計）：**109**m3（　**94.0**　ｔ）  　　ウ　産業廃棄物の保管上限：**210**　m3（　**210**　　ｔ）  　　エ　保管上限の算出根拠：下記のとおり  **記載例１（新規許可申請の場合）**  **最大積載量10tの車が3台あり、１日あたり、処分施設へは１回程度搬出する計画となっている。**  **よって、10t×３台×７日＝210tが保管上限となる。**  **記載例２（積替え保管後、船舶にて搬出する場合）**  **積替え保管後は、船舶に積載して県外へ搬出する。**  **利用する船舶の最大積載量は1000ｔであることから、保管上限は1000ｔとなる。**  **記載例３（更新許可申請の場合）**  **申請日の前月分の搬出量は、総計で450tである。**  **前月の営業日数は、30日であるから、１日あたりの搬出量実績は、450÷30=15t　となり、**  **保管上限は、15×7=105 t　である。**  廃棄物処理法上、積替え保管における保管量の上限は、平均的な搬出量の７日分以下とされているため、下記の計算式に合致するよう計画して記載して下さい。  《計算式》  全品目の保管量（ｔ）　≦　搬出量（ｔ）  搬出量 ＝ 車輌等の積載能力（※１）× 搬出先（※２）への往復可能回数 × ７  ※１）車検証の「最大積載量」等  ※２）中間処理業者又は最終処分業者  注１）搬出量は、自社所有の車両等輸送手段の積載能力により積算することとし、保管場所からの搬出予定となる他の収集運搬業者の搬出量を採用しないこと。  　　　ただし、車両を所有しない荷役業者の積替え保管のみの収集運搬業については、保管場所からの搬出予定となる他の収集運搬業者の搬出量を採用しても構いません。  注２）船舶については、傭船契約により自社船舶と同様、収集運搬業者が運搬について責任を負うことができる場合のみ、搬出量として採用すること。  注３）更新許可申請の場合は、前月に搬出した量の実績値（ｔ）を前月の総日数で割った数字を、１日あたりの搬出量とすること。 |
|
| ※　積替え保管を行う場所ごとに、当該様式を作成して下さい。 |

（第３－３面）

※沖縄県では、施行規則第９条の２で定められた様式第六号の二（第３面）について、上記の記載事項を設け、（第３－３面）としています。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ４．収集運搬業務の具体的な計画（車両毎の用途、収集運搬業務を行う時間、休業日及び従業員数を含む。）  **沖縄本島内の建設現場を周り、そこで生じる産業廃棄物の収集又は運搬を行う。**  **がれき類については、弊社のヤードで、一時保管し、一定の量がたまったら処分業者へ運搬し、その他の廃棄物については、積替え保管することなく、直接処分業者へ運搬する。**  **(1)　車両毎の用途 ： 沖縄あ＊＊＊＊（キャブオーバー）…　がれき類**  **沖縄い□□□□（バキュームカー）…　汚泥**  **(2)　収集運搬業務を行う時間 ： 平日の　9:00 ～ 17:00**  **(3)　休業日 ：日曜、祝祭日、年末年始（12月28日から１月３日）**  車両ごとの用途を含めて収集運搬の経路・収集運搬方法を具体的に記載して下さい。  また、収集運搬を行う時間（営業時間）、休業日、従業員数についても記入して下さい。  原則として、申請年月日における作業員数内訳を記載して下さい。  「相談役、顧問等申請者の登記外の役員」、「事務員」、「運転手」、「作業員」、「その他の作業員」については、廃棄物処理業に関わる人数のみを記載して下さい。  従業員数の内訳  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和６年４月１日現在 | | | | | | | |
|
| 申請者又は申請者の登記上の役員 | 政令第6条の10で  準用する第4条の7  に規定する使用人 | 相談役、顧問等申請者の登記外の役員 | 事務員 | 運転手 | 作業員 | その他 | 合　　計 |
| ３人 | １人 | ０人 | １人 | ５人 | ３人 | ０人 | 13人 |

（第４面）

|  |
| --- |
| ５．環境保全措置の概要（運搬に際し講ずる措置、積替施設又は保管施設において講ずる措置を含む。）  収集運搬及び積替え保管施設において講じる環境保全措置の概要を記載して下さい。  特に、石綿含有産業廃棄物を取り扱う場合や、積替保管施設の設置により周辺人家等に対して粉じん・騒音等による生活環境保全上の支障が懸念される場合は、こうした影響を防止し、又は最小化するための対策を具体的に明記し、そのために設備・器具等が必要な場合はその所有、設置の有無や予定等も合わせて記載して下さい。  　石綿含有産業廃棄物の取扱いについては石綿含有廃棄物等処理マニュアル（環境省）を参考に記載して下さい。  水銀使用製品産業廃棄物は、破砕することのないよう、また、他の物と混合しないよう区分して収集・運搬してください。水銀含有ばいじん等は、運搬中に水銀が揮発しないよう、また、運搬容器から漏れることのないような措置をとり、他の物と混合しないよう区分して収集・運搬して下さい（詳細は、水銀廃棄物ガイドライン（環境省）を御覧ください）。  (1) 運搬に際し講ずる措置  **汚泥については、直積みできる性状（コーン指数200qc（kN/m2）を目安とする。）であればダンプに直積みし、シート掛けして運搬する。**  **がれき類については、ダンプに直積みにし、飛散防止としてシート掛けする。**  **紙くずについては、フレコンバッグに入れて、車体から落ちないよう、ロープで固定して運搬する。**  **がれき類については、ダンプに直積みにし、飛散防止としてシート掛けする。**  **廃酸、廃アルカリは密閉性のポリ容器に入れ、転倒しないようロープで結束し、ダンプに積載して運搬する。**  **石綿含有産業廃棄物は、他の産業廃棄物と混載せず、飛散しないよう専用袋に梱包して運搬する。また、積込み及び積卸し作業も含め、運搬時には破砕しないよう充分注意する。**  【その他記載例】  ・廃油については、鉄製ドラム缶に入れ、ドラム缶が転倒しないようロープで固定して運搬する。  ・石綿含有産業廃棄物については、破砕しないよう十分注意して取扱い、他の廃棄物と混合しないよう、専用のフレコンバッグに入れて運搬する。  (2) 積み替え保管施設において講ずる措置  **積替え保管場所の周囲には防塵ネットを設置し、粉じん防止のためのスプリンクラーを設ける。**  **積替え作業は、搬入後ただちに実施し、産業廃棄物の種類毎に決められた保管場所で保管する。**  【その他記載例】  ○積替え保管に際して講ずる措置の例  ・積替え保管場所周辺に遮音壁を設置し、保管場所には粉じん防止のためのスプリンクラーを設ける。  ・産業廃棄物は全て屋内にて保管し、廃油については鉄製ドラム缶、廃酸及び廃アルカリについてはポリ容器を用いて保管する。  ・石綿含有産業廃棄物については、破砕しないよう十分注意して取扱い、他の廃棄物と混合しないよう、専用のフレコンバッグに入れて保管する。 |
|

（第５面）

（第６面）

運搬車両の写真

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 自動車登録番号又は車両番号 | | 沖縄　100  あ　11－11 | | |
| 前  面  写  真 | 注意事項  　　　　・車両の前面（真正面）を撮影すること。  　　　　・ナンバープレートが確認できること。 | | | |
| 側  面  写  真 | 注意事項  　　　　・車両の側面（真横）を撮影すること。  　　　　・名称等の車体の表示が確認できること  　　　　　　　　　既に許可を有している場合には所定の事項（「産業廃棄物  　　　　　　　　収集運搬車」、「会社名（事業者名）」、「許可番号」）が  　　　　　　　　表示されていること。  　　　車体の表示が読み取れない場合には、表示部分を拡大した  　　　　　　　　写真も添付すること。 | | | |
|  | | 撮影 | ○○年○○月○○日 |

（第７面）

運搬容器等の写真

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 運搬容器等の名称 | ドラム缶 | 用途 | | 汚泥 | |
| 注意事項  　　　　・容器等の全体が写るように撮影すること。 | | | | | |
|  | | | 撮影 | | ○○年○○月○○日 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 運搬容器等の名称 | フレコンバッグ | 用途 | | 紙くず | |
| 注意事項  　　　　・容器等の全体が写るように撮影すること。 | | | | | |
|  | | | 撮影 | | ○○年○○月○○日 |

（第８面）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業の開始に要する資金の総額及びその資金の調達方法 | | | |
| 内　　　訳 | | | 金　　　　　額（千円） |
| 事業の開始に要する  資金の総額 | | | ２０，５００ |
|  | | 土　　　　地 | 購入費　５，０００ |
| 事務所 | 造成費　２，５００　　建設費　５，０００ |
| 収集運搬車両 | 購入費　２，０００ |
| 積替保管施設 | 造成費　２，０００　　建設費　４，０００ |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 調  達  方  法 | 自己資金 | | ５，０００ |
| 借　　入　　金 | | １５，５００ |
| ○×銀行 | | １５，５００ |
|  | |  |
|  | |  |
| そ　　の　　他 | |  |
| 増　　　　　資 | |  |
|  | |  |
|  | |  |
|  | |  |
|  | |  |
|  | |  |
| 備考 内訳欄の事項については、事業計画に応じ適宜変更すること | | | |
|

（第９面）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 資 産 に 関 す る 調 書（個人用）  令和○○年○○月○○日現在 | | | |
| 資産の種別 | 内　　容 | 数　　量 | 価格、金額（千円） |
| 現金預金 | ○×銀行定期預金 |  | ３，０００ |
| 有価証券 | （株）○×の株式 | １，０００株 |  |
| 未収入金 |  |  |  |
| 売掛金 |  |  |  |
| 受取手形 |  |  |  |
| 土　　地 | 自宅宅地  駐車場土地 | １１０㎡ | ２０，０００ |
| 建 物 | 自宅 | １棟 | １２，０００ |
| 備　　品 |  |  |  |
| 車　　両 | ダンプ | １台 | ３，０００ |
| その他 |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 資　　　産　　　計 | | | ３８，１００ |
| 負債の種別 | 内　　容 | 数　　量 | 価格、金額（千円） |
| 長期借入金 | ○×銀行 |  | １９，０００ |
| 短期借入金 | △□銀行 |  | ５００ |
| 未払金 |  |  |  |
| 預り金 |  |  |  |
| 前受金 |  |  |  |
| 買掛金 |  |  |  |
| 支払手形 |  |  |  |
| その他 |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 負　　　債　　　計 | | | １９，５００ |
|

（第10面）

誓　約　書

申請者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第５項第２号イからヘに該当しない者であることを誓約します。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○年○○月○○日

沖縄県知事　○○　○○　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者

住所　沖縄県糸満市○○

氏名　株式会社　環境○○

　　　　代表取締役　環境　太郎

（法人にあっては名称及び代表者の氏名）

運搬車両以外に用いる運搬容器等の施設について記入して下さい。

「用途」の欄には、当該運搬容器等で運搬する産業廃棄物の種類を記入し、「備考」欄に運搬容器等の素材・個数を記入して下さい。